



J-PEAKS活動の今をお届けします

TAYORI



NEWS LETTER

VOL. 17

3 JUL, 2026



SURVEY

第4回「九州工業大学教職員意識調査」の結果速報!

ご協力ありがとうございました!

アンケート概要

実施期間	2026年5月13日～5月22日	回答数	415件
対象者	九州工業大学全教職員	回答方法	10段階評価の設定×7問、及び自由記述 ※不適切回答を除く

PICK UP Q1

大学において、ビジョン等達成のための戦略が策定され、その遂行のための体制が整っていると思う?

第3回 5.48

平均評価 0.14 pt ↑

第4回 5.62

『体制整備』の平均評価は、第3回5.48から第4回5.62へ上昇しました。

PICK UP Q2

ビジョン等は教職員に十分に浸透している?

第3回 5.31

平均評価 0.06 pt ↑

第4回 5.38

『浸透度』の平均評価は、第3回5.31から第4回5.38へ上昇しました。

PICK UP Q3

2024年度に比べて、研究に費やすことのできる時間が増えている?(又はそのための施策の実施)

第3回 4.31

平均評価 0.05 pt ↑

第4回 4.36

『研究に費やす時間の増加・施策の実施』の平均評価は、第3回4.31から第4回4.36へ上昇しました。



九工大で働く全教職員がJ-PEAKS事業を自分事として捉えてもらえるよう、工夫しながら情報発信や勉強会を継続していきます!



REPORT

大学経営マネジメント人材デザインワークショップに参加しました

「大学経営マネジメント人材デザインワークショップ」(新潟市開催)に参加した。3大学の事例紹介の後、講演者を囲むグループディスカッションの形式で意見交換した。その中でも、大阪大学の取り組みが大変興味深い。特徴は、研究支援を担うURAとデータ分析を担うIRを有機的に連携させる「URA×IR活動」を大学経営の中核に据えていることである。事務職員を学内公募により経営オフィスに配置し、約2年間URA及びIR業務を経験させる育成制度を導入。メンターとして経験豊富なURAが、事務職員の指導役となる実践育成方式で、修了時には成果報告により能力を可視化、財務分析や研究支援部門などで活躍するキャリア形成をも実現。「研究支援人材」⇒「大学経営人材」育成への転換が求められていると感じる。(管理本部 修行)



EVENT

学長記者懇談会

5月26日の学長記者懇談会において、九工大のJ-PEAKS事業に関連する「教育研究資金の好循環」「業務効率化・高度化の好循環」「エンゲージメントの好循環」に係る取組を紹介しました。

特にエンゲージメントの好循環に関しては、「さん」付け呼称の奨励など、「組織において無意識に当たり前とされている価値観」にまで踏み込んだ経営改革の取組が注目を集め、後日の追加取材を受けることになりました。(経営戦略室 三宅)



CHECK!!

6月28日朝日新聞の朝刊に載りました!

記事はこちら



WORKSHOP

第4回J-PEAKS勉強会を開催しました!

6月18日戸畑キャンパスの中村記念館多目的ホールで、J-PEAKS勉強会を開催しました。今回は業務DXに焦点を当てた内容で、グループワークでは活発な意見交換が行われていました。

実施後のアンケートでは「職種や部署を越えた意見交換や交流ができてよかった」との意見が多く好評でした。その他にも「DX・生成AI活用ワークショップを検討してほしい」「もっと話す時間がほしい」「全ての部署の方が参加すべき」など、たくさんの声をいただいています。今後も勉強会はアンケート結果を参考にブラッシュアップしながら、継続して実施していきます。



次回は7月31日に飯塚キャンパスで開催予定! 皆さまのご参加お待ちしております!

INFORMATION

5月28日開催 生命体FD研修会

J-PEAKSについてプレゼンを行いました! ※学内者のみ閲覧可能です

動画はこちら

「これからは『何がわからないのか』を見出せる人材を育成する必要がある」。NAISTのARWITシンポジウムでのAI創業の第一人者、京都大学奥野教授の言葉です。AIが急速に発達・普及する今日、大学は何をすべきか?という問いに対するお答えです。

「分からないことを分かっていないと、分からないことは分かりません」。NHKのドラマ「テミスの不確かな法廷」での松山ケンイチ演じる裁判官の決め台詞を思い出しました。フェイクニュースや陰謀論に騙されるのは、「自分は何でも知っている」「人の知らないことを知っている」と思い上がっている人のように感じます。謙虚になって正しい問いを発することが、AI時代を上手に生きていくコツなのかも知れません。



MIYAKE リエゾンのつぶやき...